

2016年12月期 第2四半期業績 説明会資料

2016年8月1日

AGC 旭硝子

■2016年12月期 第2四半期業績	P.3
1. 今回の決算のポイント	P.4
2. 業績の概況と主要項目	P.10
3. セグメント別・地域別の状況	P.24
■2016年 通期業績の見通し	P.36
附属資料	P.42

2016年12月期 第2四半期業績

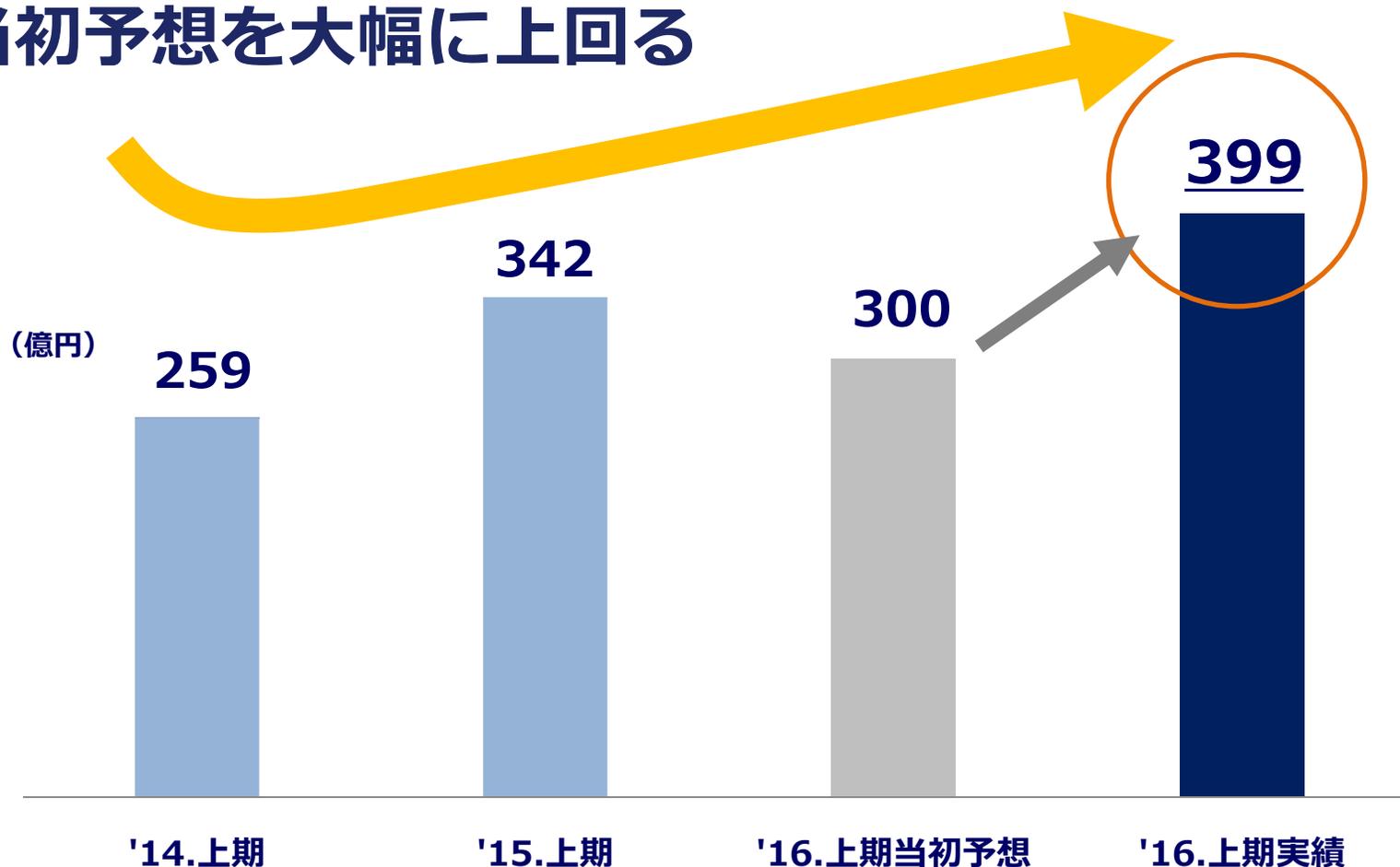
1. 今回の決算のポイント

- ◆ 減益に終止符
- ◆ バランスのとれた利益構造を実現
- ◆ 経営方針 **AGC plus** のもと
2017年経営目標達成を目指す

売上高	1兆6,000億円
営業利益	1,000億円以上
ROE	5%以上
D/E	0.5以下

【上期営業利益実績】

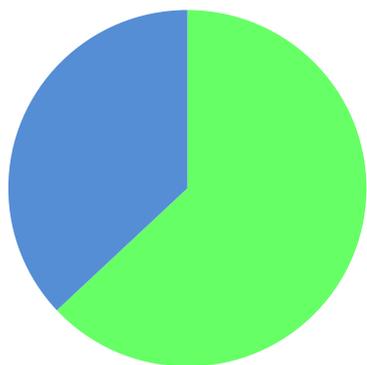
- ◆ 2年連続増益達成
- ◆ 当初予想を大幅に上回る



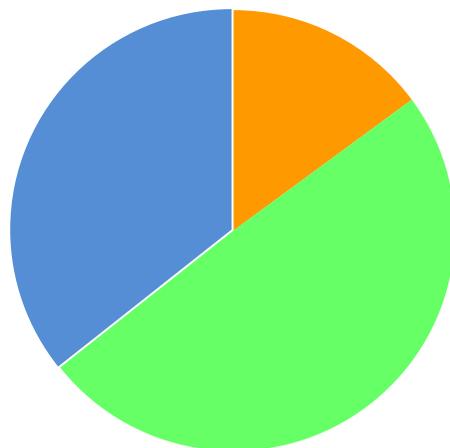
【セグメント別営業利益割合】

◆ポートフォリオ経営の推進により、バランスのとれた利益構造に

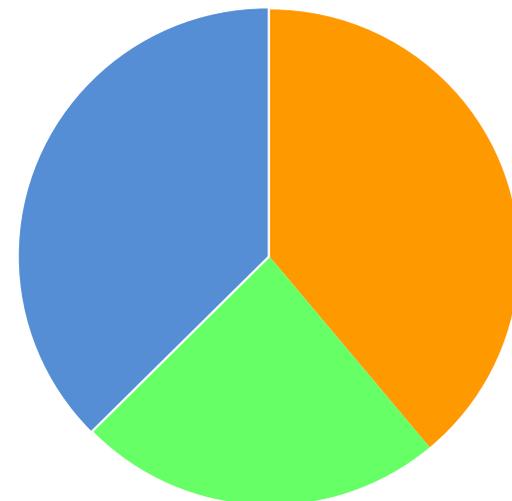
'14.上期



'15.上期



'16.上期

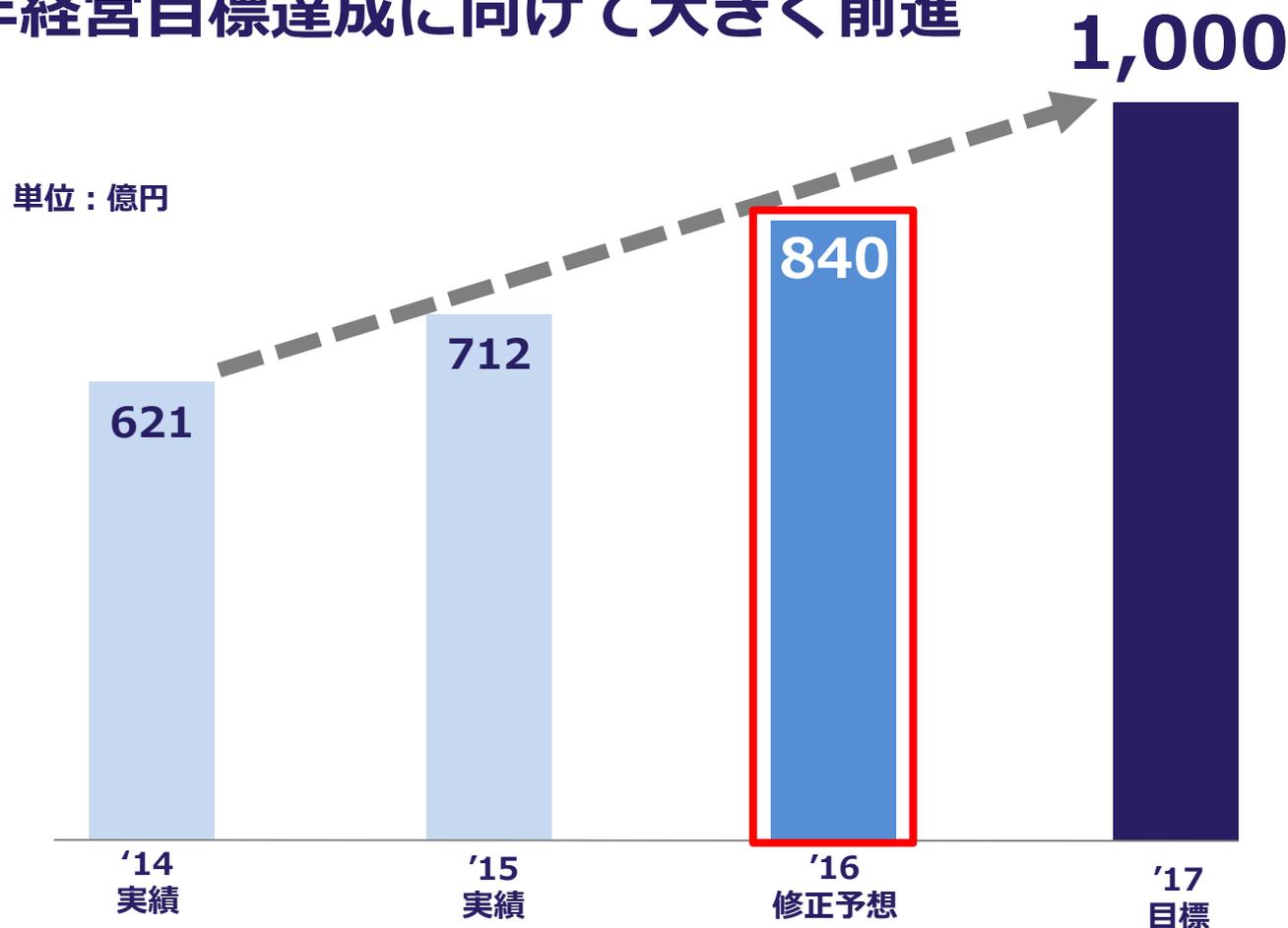


* FY2014上期のガラス営業利益：-9億円

■ ガラス ■ 電子 ■ 化学品

【2016年通期営業利益見通し】

- ◆7月14日に通期見通しを上方修正
- ◆17年経営目標達成に向けて大きく前進



◆ポートフォリオ 経営の推進

	成長	キャッシュ創出	体質強化
ガラス	・自動車用ガラス	・建築用ガラス (新興国)	・建築用ガラス (先進国)
電子	・電子部材 など	・液晶用ガラス	・特殊ガラス
化学品	・海外クロール・アルカリ ・フッ素 など		・国内クロール・アルカリ

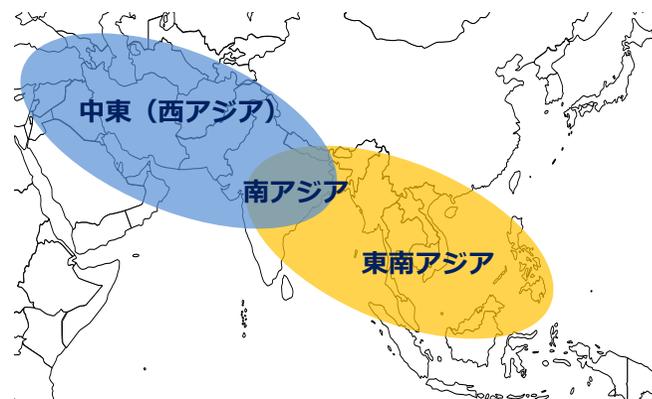
◆戦略事業の拡大

モビリティ

エレクトロニクス

ライフサイエンス

◆アジアの高成長を 取り込む



2. 業績の概況と主要項目

連結累計期間

売上高 **6,249億円**（前年同期比 336億円の減収）

営業利益 **399億円**（同 57億円の増益）

親会社の所有者に帰属する

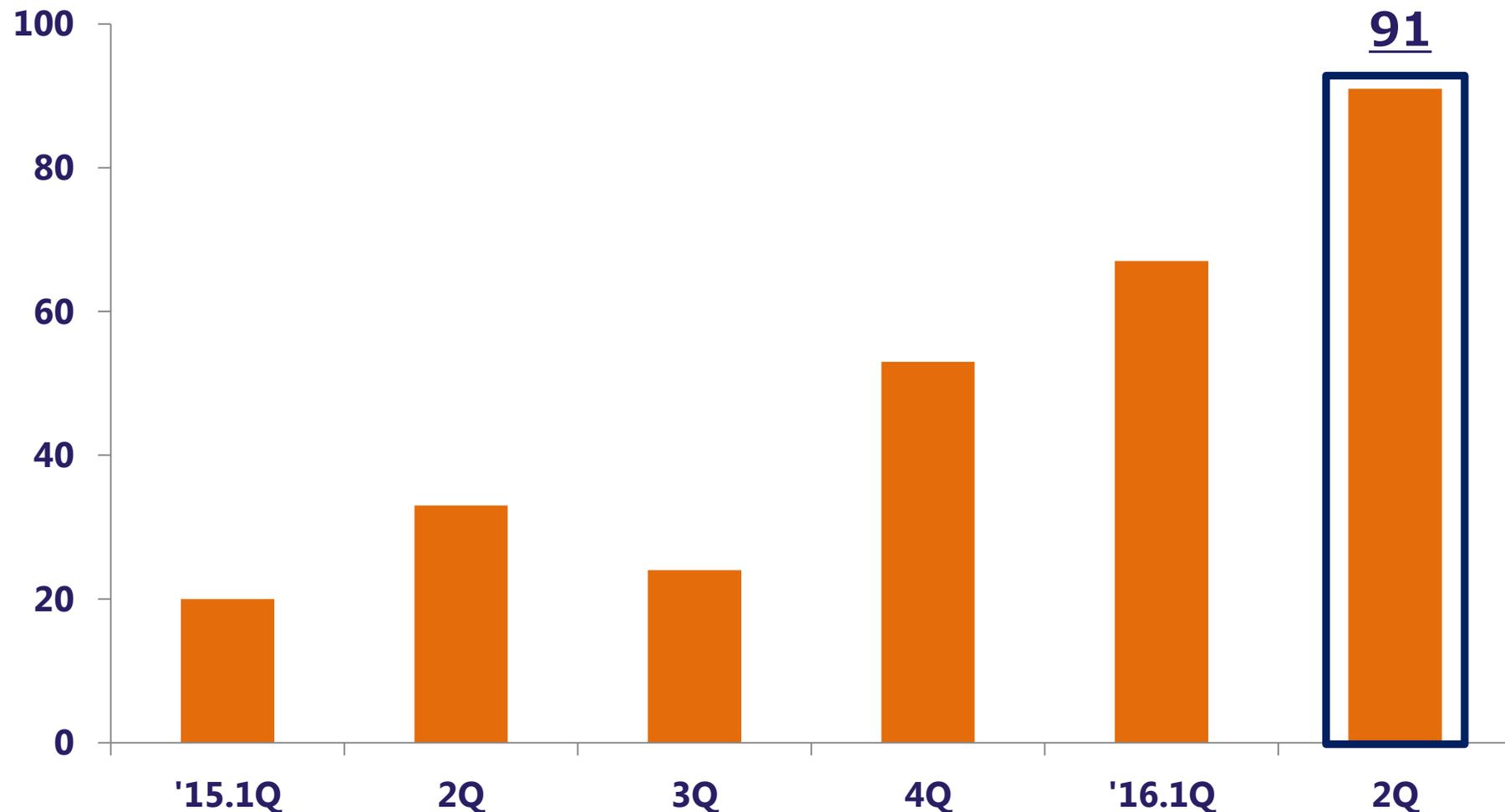
四半期純利益 **270億円**（同 70億円の減益）

- ✓ 円高及び一部製品の価格下落等の影響を受け減収
- ✓ ①原燃材料価格下落等のコストダウン、
②建築用ガラスの価格上昇、③自動車用ガラスの数量増
等により営業利益は増益
第2四半期に原油ヘッジ評価益などの一時利益が発生
- ✓ 前期に計上した退職後給付制度改定益が今期は発生しなかったことから、四半期純利益は減益

【ガラスセグメント 営業利益推移】

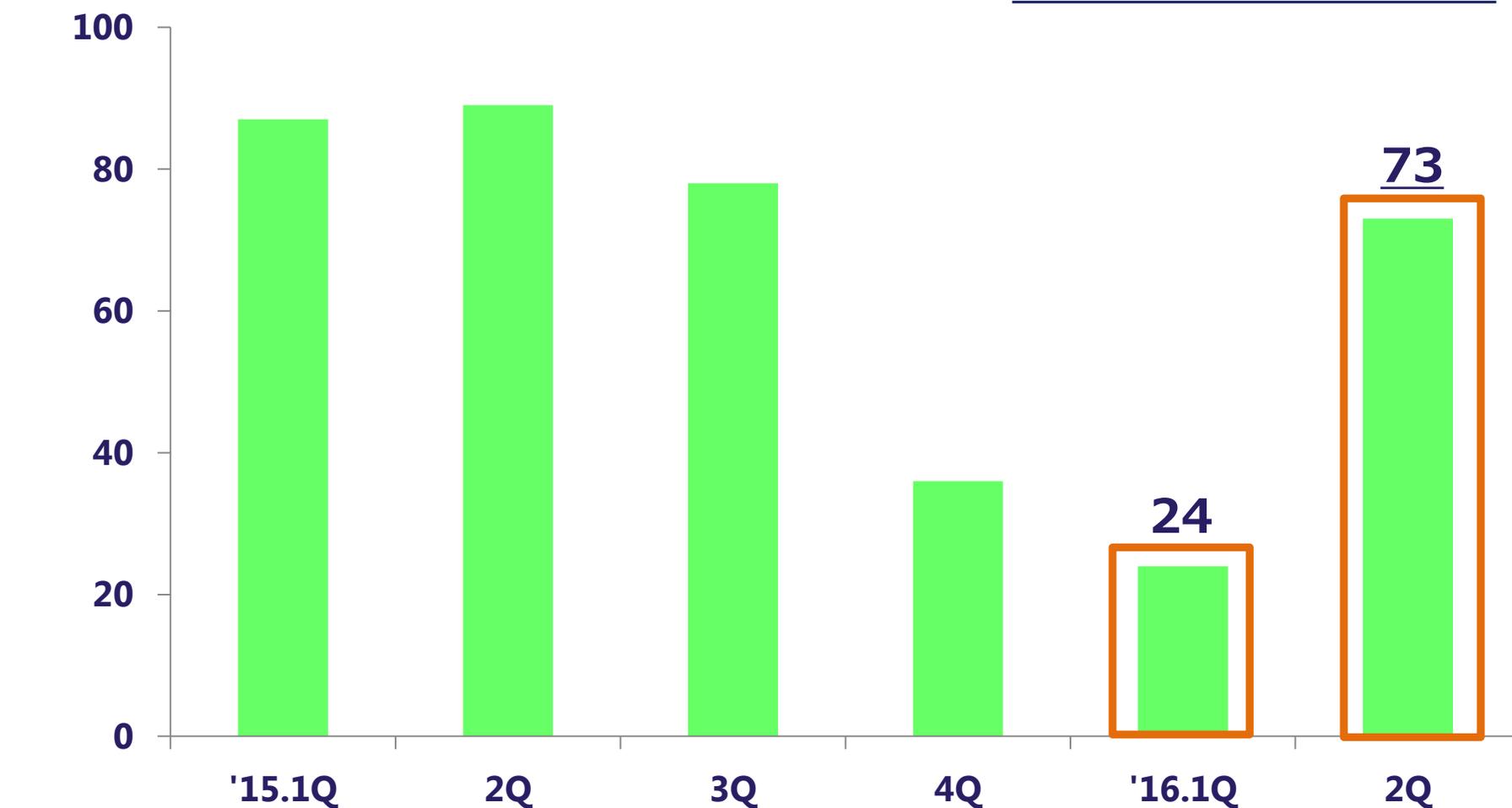
(億円)

◆ 欧州がけん引し大幅に改善



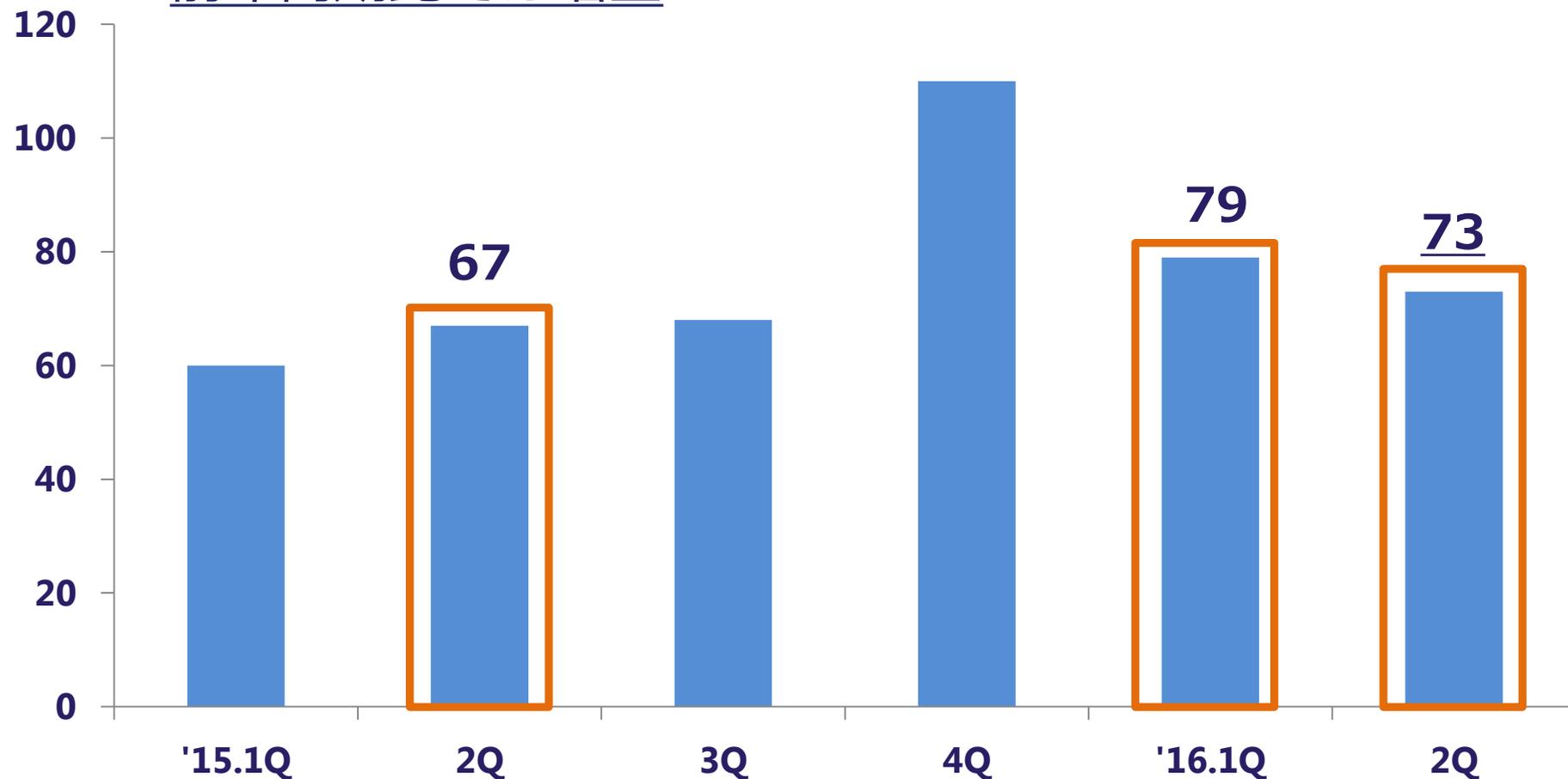
【電子セグメント 営業利益推移】

◆ディスプレイ事業の改善により 4 四半期ぶりに増益

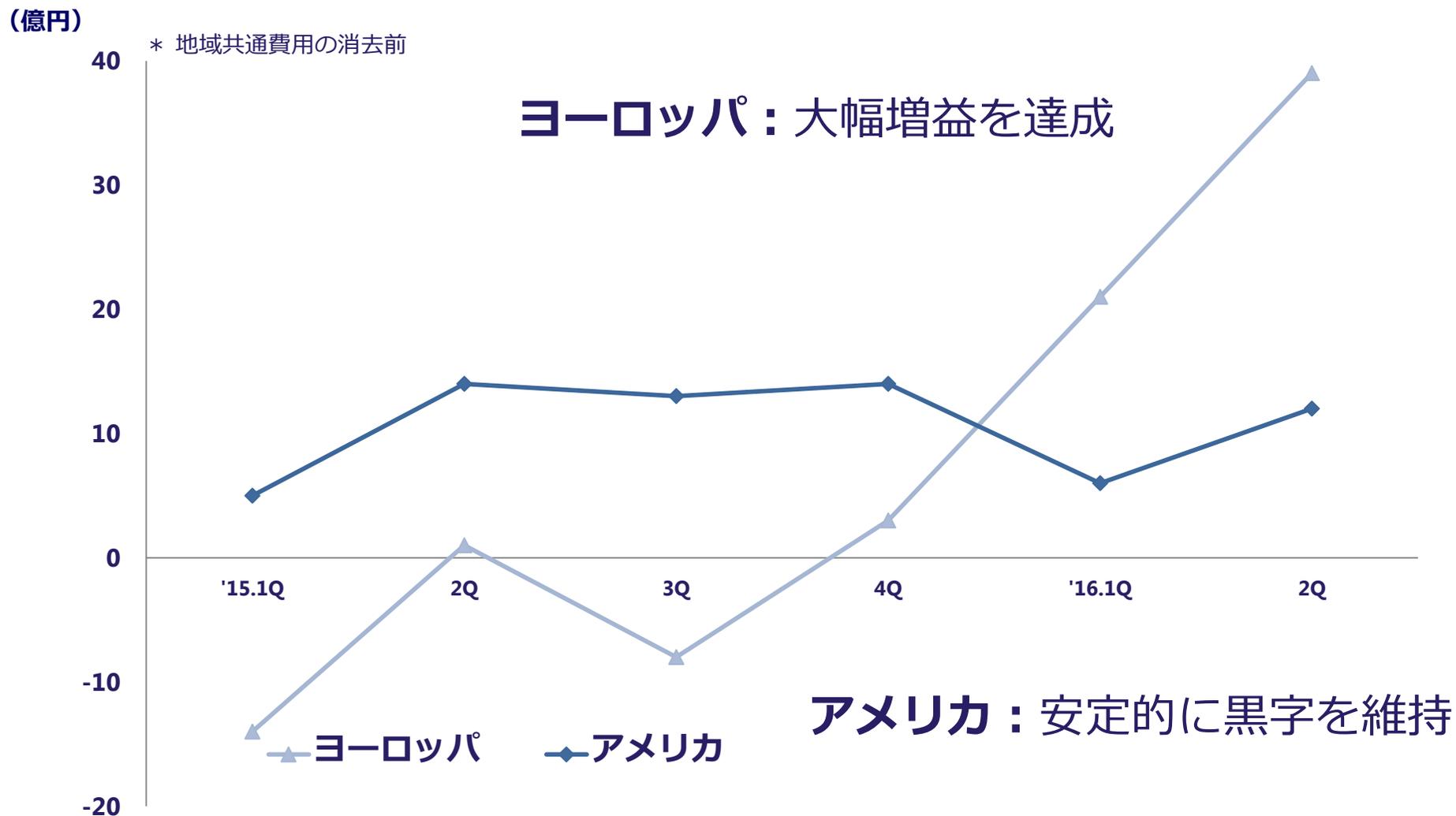


【化学品セグメント 営業利益推移】

◆ 円高の影響などにより前四半期比減益も、
前年同期比では増益



【ヨーロッパ・アメリカ地域 営業利益推移】



2016年12月期 第2四半期業績の主要項目

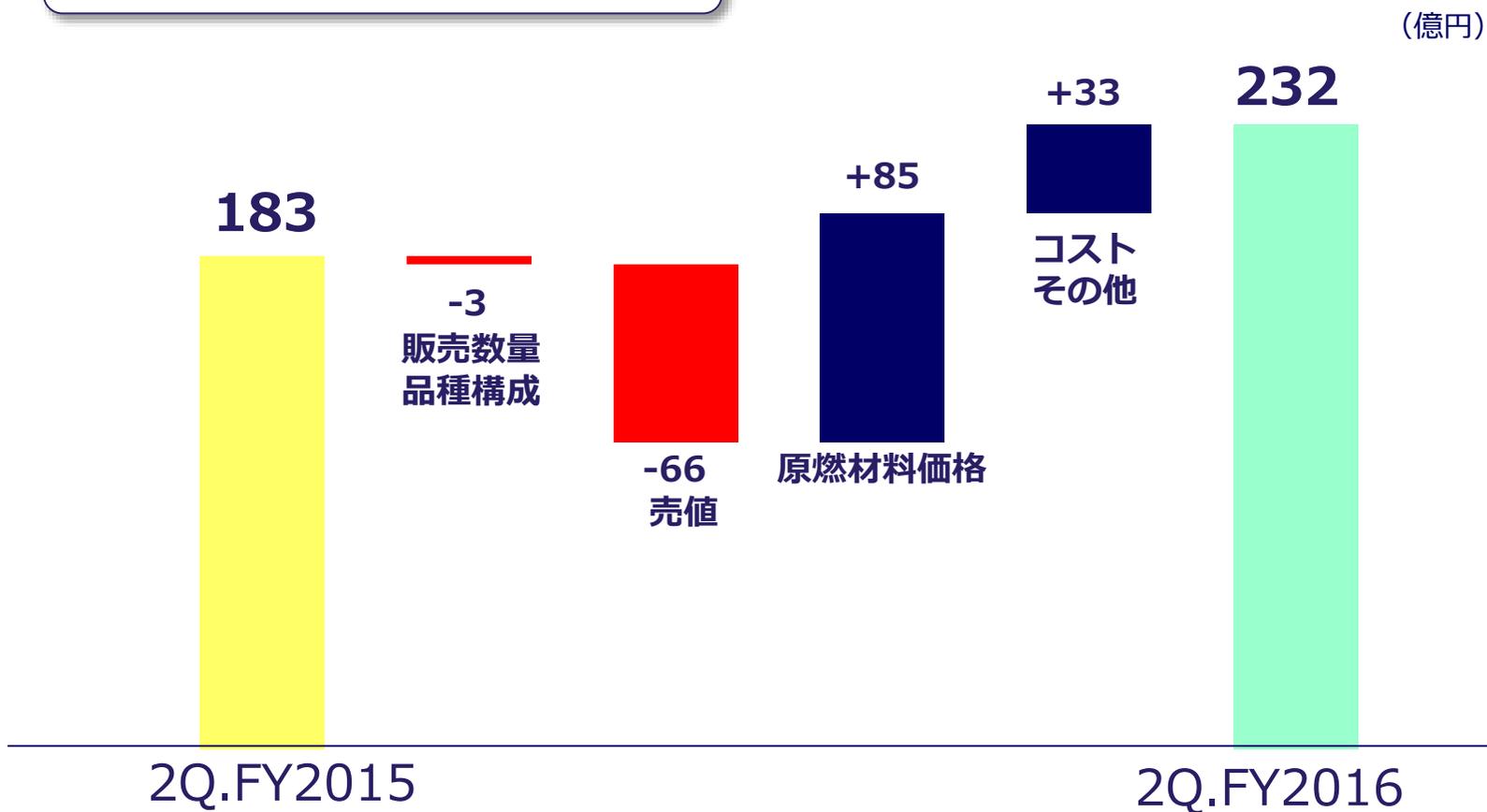


	2Q				1Q-2Q累計				(億円)
	FY2015	FY2016	増減	増減%	FY2015	FY2016	増減	増減%	
売上高	3,330	3,170	-160	-4.8%	6,586	6,249	-336	-5.1%	
営業利益	183	232	+49	+26.7%	342	399	+57	+16.5%	
税引前利益	448	239	-209	-46.7%	553	368	-185	-33.5%	
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	294	182	-112	-38.0%	340	270	-70	-20.5%	
営業利益率	5.5%	7.3%			5.2%	6.4%			
為替レート (期中平均)	JPY/USD	121.36	108.14		120.23	111.81			
	JPY/EUR	134.16	122.02		134.17	124.63			
原油	\$/BBL (Dubai)	61.1	43.3		56.7	37.1			

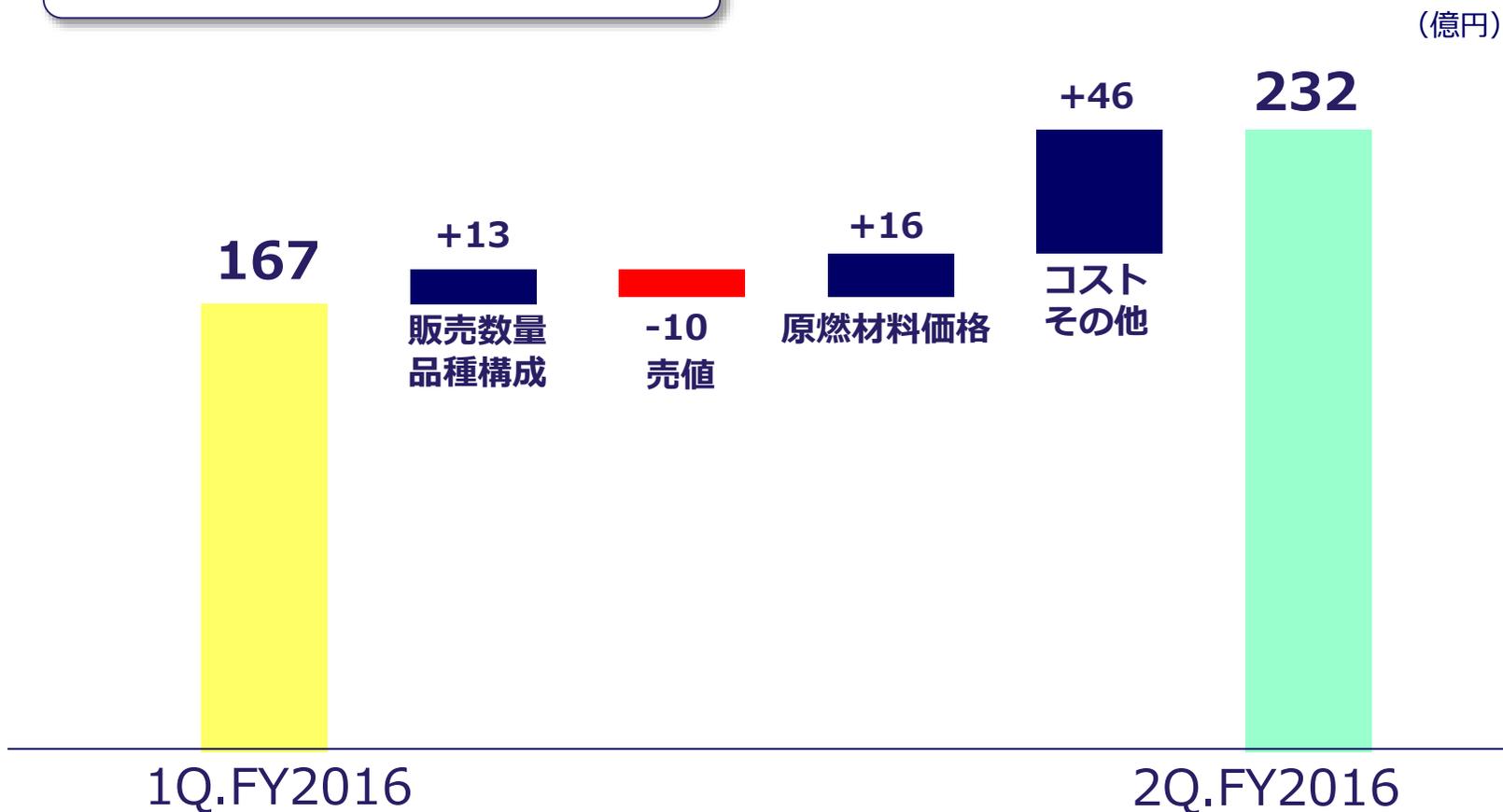
	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減	
売上高	3,330	3,170	-160*	6,586	6,249	-336*	
営業利益	183	232	+49	342	399	+57	
その他収支	254	-2		211	-24		
事業利益	436	230	-206	553	375	-178	
金融収支	11	9		0	-7		
税引前四半期利益	448	239	-209	553	368	-185	
法人税等	145	45		199	77		
四半期純利益	303	194	-109	354	291	-63	
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	294	182	-112	340	270	-70	
非支配持分に 帰属する当期純利益	9	12		14	21		

* うち、為替差影響は、2Q 売上高 ▲255億円、1-2Q累計売上高 ▲376億円

前年同期比 49億円増益

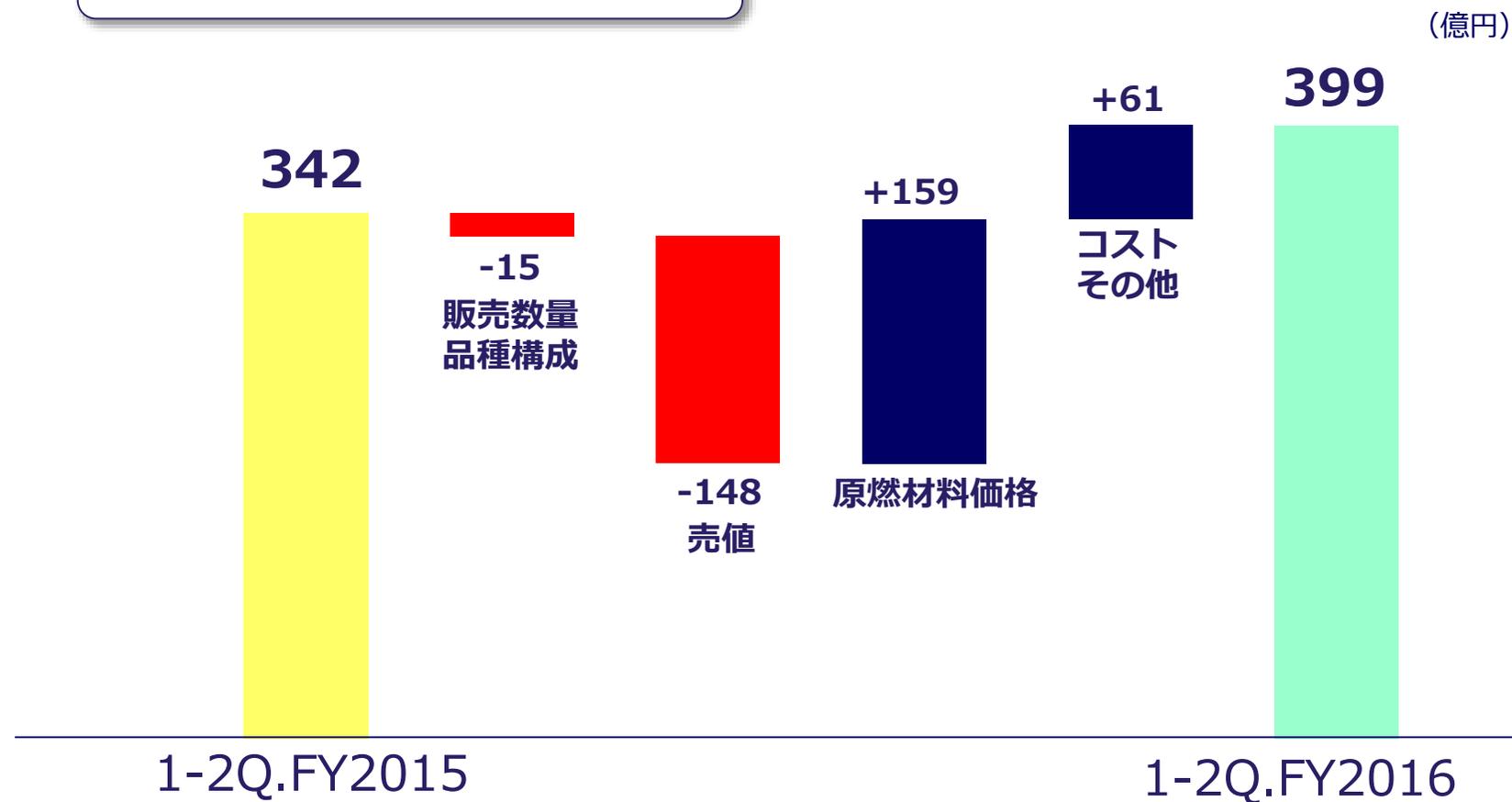


前四半期比 65 億円増益



営業利益増減要因分析(1-2Q.FY2016 vs. 1-2Q.FY2015) AGC

前年同期比 57億円増益



	2015/12	2016/6	増減 (億円)
現金及び現金同等物	1,048	1,258	+209
棚卸資産	2,354	2,208	-146
有形固定資産・無形 資産及びのれん	10,440	9,491	-948
その他	6,071	5,188	-883
資産合計	19,913	18,145	-1,768*
有利子負債	4,687	4,341	-346
その他	3,588	3,463	-125
負債の部	8,275	7,804	-471
親会社の所有者に 帰属する持分合計	10,942	9,700	-1,241
非支配持分	696	640	-55
資本の部	11,638	10,341	-1,297
負債及び資本合計	19,913	18,145	-1,768*
D/E比率	0.40	0.42	

* うち、為替差影響は、▲1,462億円

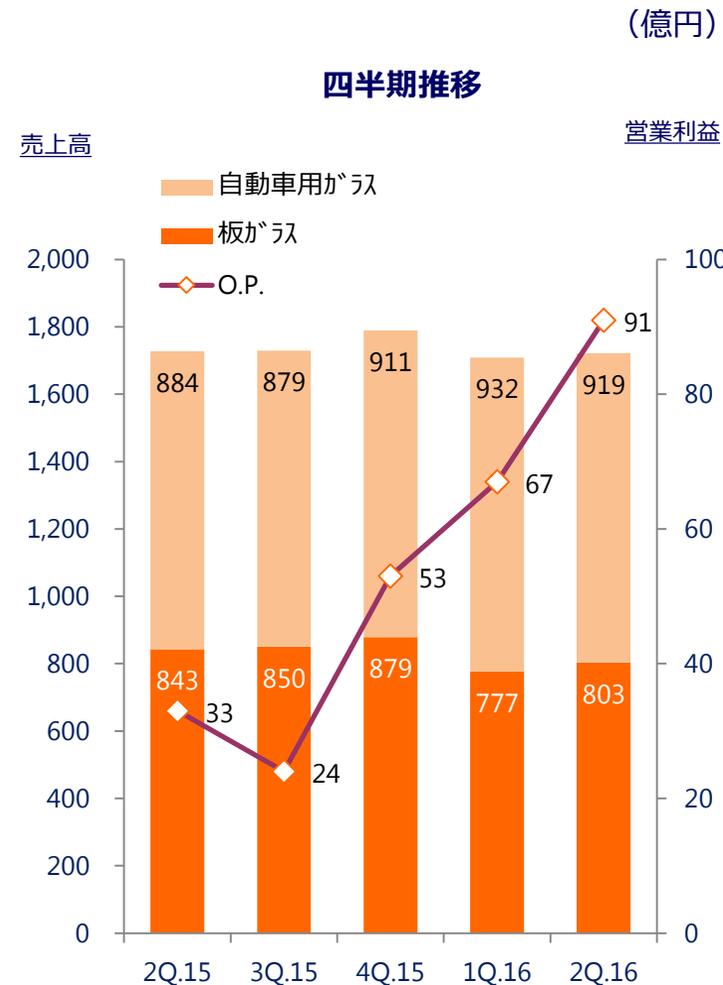
	2Q		1-2Q累計		(億円)
	FY2015	FY2016	FY2015	FY2016	
税引前利益	448	239	553	368	
減価償却費及び償却費	354	304	692	618	
運転資金増減	-63	30	30	31	
その他	-373	-91	-359	-20	
営業活動によるCF	367	482	917	997	
投資活動によるCF	-277	-225	-524	-537	
フリーキャッシュフロー	90	257	393	460	
有利子負債増減	82	-68	-54	-93	
支払配当	-	-	-104	-104	
その他	-5	-4	0	-13	
財務活動によるCF	77	-72	-158	-210	
現金等に係る換算差額	-7	-28	12	-41	
現金等の増加額	160	157	247	209	

	2Q		1-2Q累計 (億円)	
	FY2015	FY2016	FY2015	FY2016
設備投資額	307	327	559	644
減価償却費	354	304	692	618
研究開発費	94	96	194	192

2. セグメント別・地域別の状況

■ 欧州のけん引により大幅改善

	2Q			1-2Q累計		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	1,727	1,722	-5	3,418	3,431	+13
営業利益	33	91	+58	53	158	+105
売上高の内訳		小計	日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	消去
ガラス	2Q	1,722	705	306	749	-38
	1-2Q累計	3,431	1,438	619	1,451	-77
板ガラス	2Q	803	272	110	448	-28
	1-2Q累計	1,580	555	221	865	-60
自動車用ガラス	2Q	918	431	195	301	-9
	1-2Q累計	1,850	885	398	586	-18
セグメント内調整	2Q	1	2	0	-0	-1
	1-2Q累計	0	-2	0	-0	2



【前年同期比】

〔建築用ガラス〕

- 日本・アジア：前年同期並み
- 北米：出荷は堅調
- ヨーロッパ：出荷は堅調
- 多くの地域で販売価格は前年を上回るレベル

〔自動車用ガラス〕

- 欧州や北米で自動車生産台数が増加したことから、当社グループの出荷も増加

■ 液晶用ガラス基板事業の出荷数量増・コストダウン (円高影響含む) などにより前四半期比大幅改善

	2Q			1-2Q累計		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	737	629	-108	1,467	1,216	-251
営業利益	89	73	-16	176	96	-80

売上高の内訳

ディスプレイ	2Q	489
	1-2Q累計	951
電子部材	2Q	140
	1-2Q累計	265



【前年同期比】

〔ディスプレイ〕

- 液晶用ガラス基板：顧客における生産調整の影響を受け出荷は減少。販売価格も下落。
- ディ스플레이用特殊ガラス：出荷は電子機器用途で減少も、車載用途では拡大
- ソーラー用ガラス：出荷は減少

〔電子部材〕

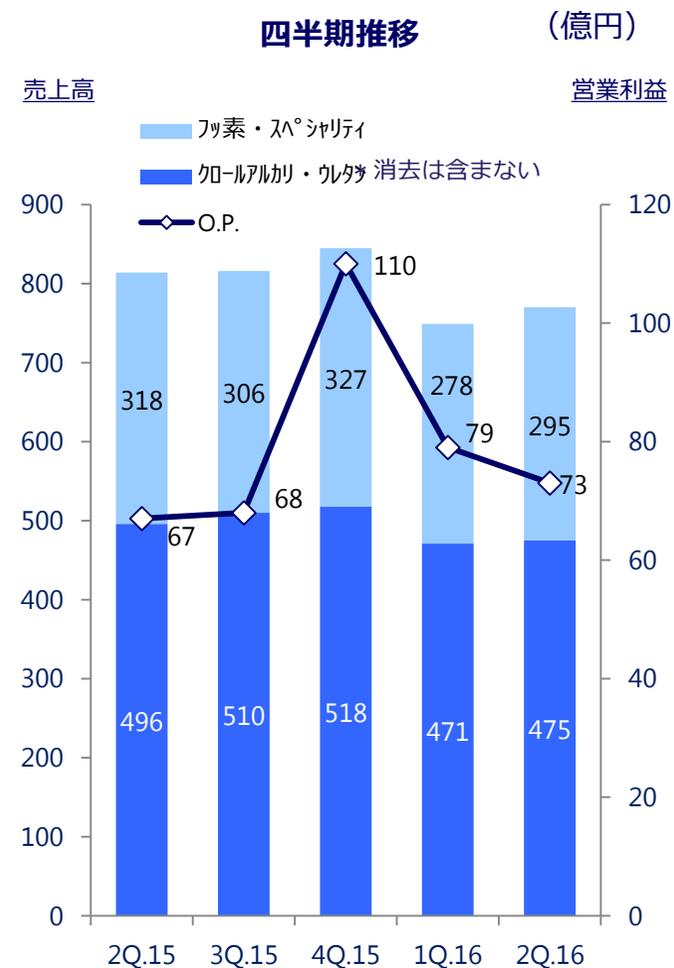
- オプトエレクトロニクス用部材の出荷が減少

■ 円高のマイナス影響受けるも、前年同期比で増益

	2Q			1-2Q		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	789	746	-43	1,574	1,472	-102
営業利益	67	73	+6	127	152	+25

売上高の内訳

クロールアルカリ・ウレタン	2Q	475
	1-2Q累計	946
フッ素・スペシャリティ	2Q	295
	1-2Q累計	573
消去	2Q	-24
	1-2Q累計	-47



【前年同期比】

〔クロールアルカリ・ウレタン〕

- 東南アジアでの出荷が増加
- 販売価格の下落や円高の影響を受け減収
- 原燃材料価格下落等により利益率・額は増加

〔フッ素・スペシャリティ〕

- 一部製品で出荷減少

セグメント別業績 前年同期比較

	2Q			1-2Q累計			(億円)
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減	
売上高	3,330	3,170	-160	6,586	6,249	-336	
ガラス	1,727	1,722	-5	3,418	3,431	+13	
電子	737	629	-108	1,467	1,216	-251	
化学品	789	746	-43	1,574	1,472	-102	
セラミックス・その他	186	181	-5	325	349	+24	
消去	-110	-109	+1	-198	-219	-21	
営業利益	183	232	+49	342	399	+57	
ガラス	33	91	+58	53	158	+105	
電子	89	73	-16	176	96	-80	
化学品	67	73	+6	127	152	+25	
セラミックス・その他	-6	-3	+3	-14	-7	+8	
消去	-0	-2	-2	0	-1	-2	

セグメント別業績 前四半期比較

(億円)

	1Q. FY2016	2Q. FY2016	増減	増減%
売上高	3,080	3,170	+90	+2.9%
ガラス	1,709	1,722	+13	+0.8%
電子	587	629	+41	+7.1%
化学品	726	746	+20	+2.8%
セラミックス・その他	168	181	+14	+8.2%
消去	-110	-109	+1	-
営業利益	167	232	+65	+38.7%
ガラス	67	91	+24	+35.5%
電子	24	73	+49	+206.2%
化学品	79	73	-7	-8.6%
セラミックス・その他	-4	-3	+1	-
消去	0	-2	-2	-

地域別業績 前年同期比較

	2Q			1-2Q累計 (億円)		
	FY2015	FY2016	増減	FY2015	FY2016	増減
売上高	3,330	3,170	-160	6,586	6,249	-336
日本・アジア	2,267	2,106	-161	4,538	4,158	-380
アメリカ	400	371	-29	776	754	-23
ヨーロッパ	779	784	+5	1,525	1,522	-3
消去	-115	-91	+24	-254	-185	+69
営業利益	183	232	+49	342	399	+57
日本・アジア	239	246	+7	487	452	-34
アメリカ	14	12	-2	18	18	-0
ヨーロッパ	0	39	+39	-14	60	+73
消去	0	2	+2	-4	6	+9
地域共通費用	-71	-67	+3	-145	-137	+8

地域別業績 前四半期比較

(億円)

	1Q. FY2016	2Q. FY2016	増減	増減%
売上高	3,080	3,170	+90	+2.9%
日本・アジア	2,052	2,106	+54	+2.6%
アメリカ	383	371	-12	-3.2%
ヨーロッパ	739	784	+45	+6.1%
消去	-94	-91	+3	-
営業利益	167	232	+65	+38.7%
日本・アジア	206	246	+40	+19.4%
アメリカ	6	12	+6	+92.4%
ヨーロッパ	21	39	+18	+85.4%
消去	4	2	-2	-
地域共通費用	-70	-67	+3	-

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

売上高	(億円)			
	全社計*	ガラス	電子	化学品
1-2Q. FY2016	6,249	3,431	1,216	1,472
前年同期比	-336	+13	-251	-102
[以下影響を除く前年同期比]	-18	+227	-226	-27
為替換算の影響	-376	-272	-25	-75
連結範囲変更の影響	+58	+58	-	-

•全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

2016年 通期業績の見通し

売上高 **12,800億円** (前期比 463億円の減収)

営業利益 **840億円** (同 128億円の増益)

親会社の所有者に帰属する

当期純利益 **300億円** (同 129億円の減益)

- ✓ ガラスや化学品の出荷増も円高により減収
- ✓ 営業利益は、販売価格下落の影響があるも、出荷増により増益
- ✓ 2015年は年金制度改定による退職後給付制度改定益を計上したため、親会社の所有者に帰属する当期純利益は減益

2016年 通期業績見通しの主要項目



		FY2015	FY2016 予想	増減	(億円) 増減%
売上高		13,263	12,800	-463	-3.5%
営業利益		712	840	+128	+18.0%
税引前利益		845	540	-305	-36.1%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		429	300	-129	-30.1%
一株当たり配当金 (円)		18	18		
営業利益率		5.4%	6.6%		
ROE		3.9%	3.1%		
為替レート(期中平均)	JPY/USD	121.05	108.0		* FY2016 下期の前提は JPY/USD 105.0 JPY/EUR 115.0
	JPY/EUR	134.31	120.0		
原油	\$/BBL(Dubai)	50.9	45.0		* FY2016予想のROEは、 FY2016.6月末時点の親会社の所有者に帰属する 持分合計を使用

〔ガラス〕

- 建築用ガラス

 - 西欧：需給は引き続きタイトに推移

 - 日本・アジア：季節性により上期比で出荷増

 - 北米：高いレベルの出荷が継続

- 自動車用ガラス

 - 一部新興国で減速感有るもののグローバル全体では堅調

〔電子〕

- 液晶用ガラス基板：出荷は上期比で増加
- オプトエレクトロニクス用部材：出荷が回復
- ディスプレイ用特殊ガラス：車載用途での出荷が拡大

〔化学品〕

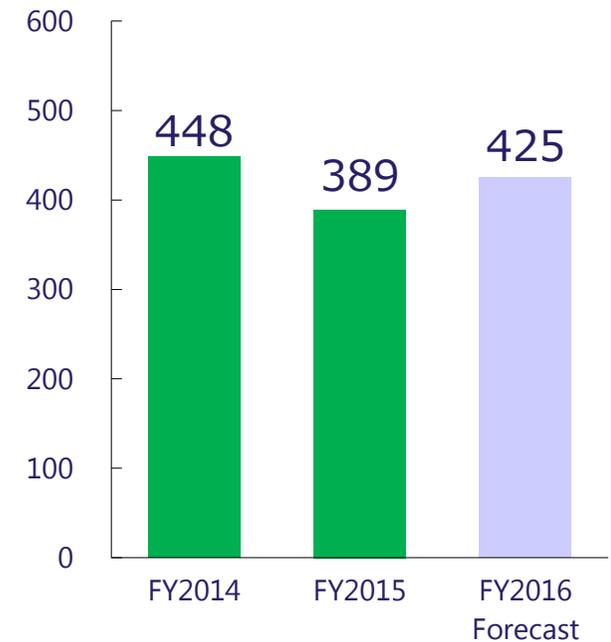
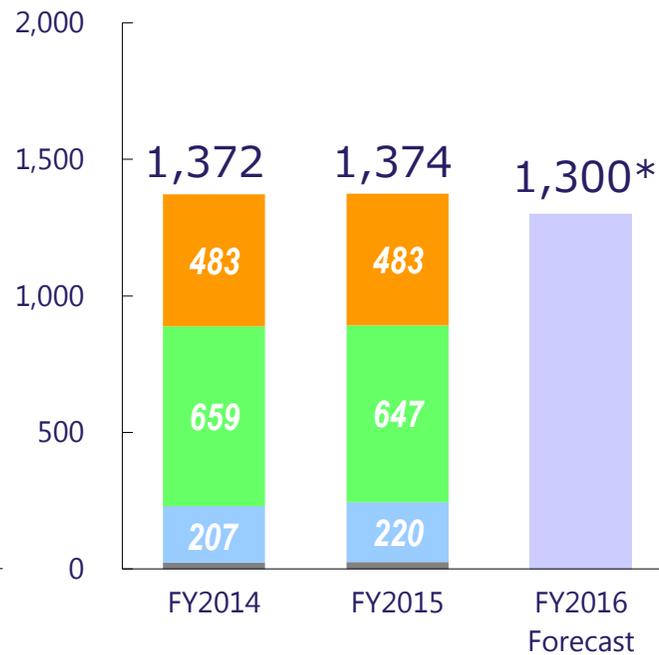
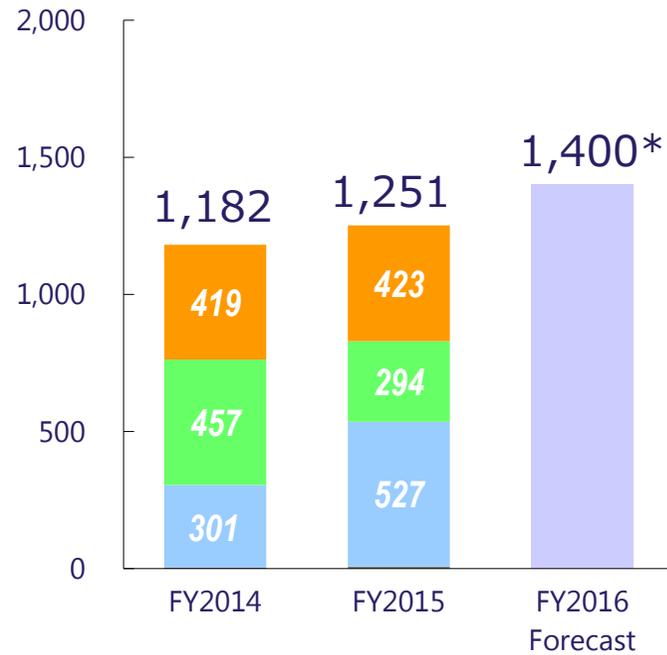
- 海外クロアリ：東南アジアにおける増設効果が寄与
- フッ素・スペシャリティ：需要期に入り出荷増

(億円)

設備投資

減価償却費

研究開発費

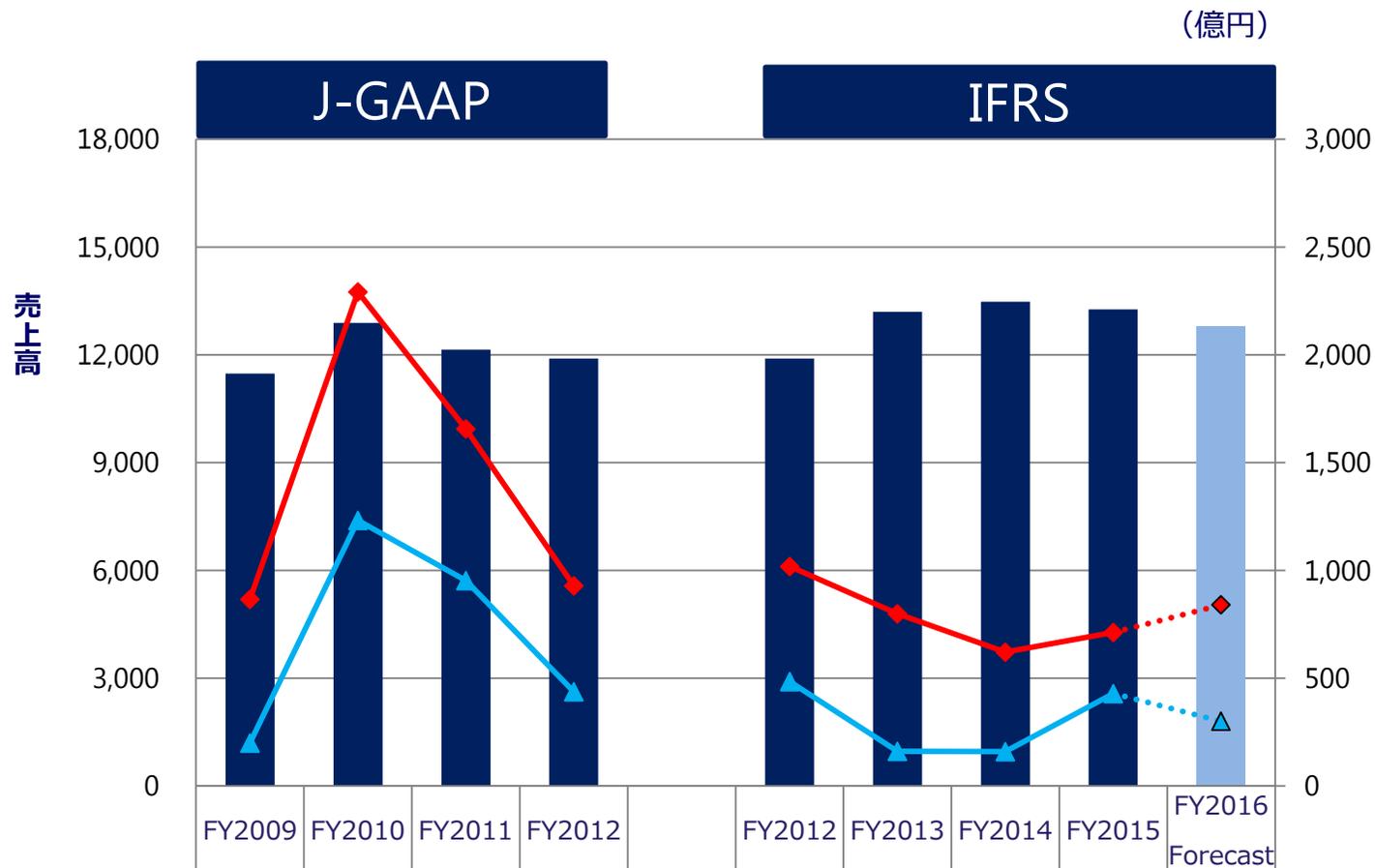


* 期初予想1,500から見直し

* 期初予想1,400から見直し

■ ガラス
 ■ 電子
 ■ 化学品
 ■ セラミックス・その他

付属資料



営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益

■ 売上高	11,482	12,889	12,147	11,900		11,900	13,200	13,483	13,263	12,800
◆ 営業利益	867	2,292	1,657	929		1,018	799	621	712	840
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益*	200	1,232	953	438		484	161	159	429	300
営業利益率	7.5%	17.8%	13.6%	7.8%		8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	6.6%
一株当たり配当金	¥16	¥26	¥26	¥26		¥26	¥18	¥18	¥18	¥18

* 日本基準では、当期純利益を表示しています。

		J-GAAP						IFRS			
		07/12	08/12	09/12	10/12	11/12	12/12	12/12	13/12	14/12	15/12
自己資本当期純利益率(ROE) ^{*1}	%	7.5%	4.7%	2.7%	15.8%	11.8%	5.0%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%
総資産営業利益率(ROA) ^{*2}	%	9.3%	7.8%	4.8%	12.9%	9.6%	5.2%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%
自己資本比率	%	45%	40%	42%	46%	48%	50%	47%	51%	54%	55%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.52	0.77	0.74	0.60	0.57	0.54	0.56	0.50	0.42	0.40
営業CF/有利子負債	倍	0.46	0.34	0.30	0.56	0.31	0.31	0.32	0.29	0.27	0.40
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	59.35	33.53	17.12	105.52	81.90	37.88	41.90	13.97	13.77	37.12
EBITDA ^{*3}	億円	2,555	2,199	1,873	3,084	2,594	1,928	2,000	1,866	1,859	2,284

*1 【J-GAAP】 当期純利益/自己資本 (期中平均)
 【IFRS】 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2015					FY2016			
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q
円/ドル	期中平均	119.09	121.36	122.23	121.50	121.05	115.48	108.14	105.0 ^{*4}	
	期末	120.17	122.45	119.96	120.61	120.61	112.68	102.91		
円/ユーロ	期中平均	134.18	134.16	135.98	132.95	134.31	127.23	122.02	115.0 ^{*4}	
	期末	130.32	137.23	134.97	131.77	131.77	127.70	114.39		

*4 2016年度下期の前提

発表日	内容
1月27日	2年連続で世界最大規模のデザインの祭典「ミラノサローネ」に出展
2月5日	コーポレートガバナンス基本方針の制定
2月15日	インドネシアのアサヒマス・ケミカル社増強設備の初出荷式を開催
2月16日	地球温暖化を抑制する冷媒新グレード「AMOLEA®yd」を開発
2月23日	指紋認証用カバーガラスを発売
3月4日	中国蘇州市の生産子会社の社名を変更
3月11日	ブラジル第2フロート工場を新設
3月28日	車載ディスプレイ用カバーガラスの供給体制を拡充
5月12日	インドネシアで塩化ビニルモノマー（VCM）の生産能力を追加増強
6月7日	「UVベールPremium Privashield™」がトヨタ自動車の「エスティマ、エスティマハイブリッド」に採用
8月1日	北アフリカへ初進出 モロッコに自動車用ガラス生産拠点を新設

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は旭硝子株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

AGC 旭硝子

〒100-8405

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
新丸の内ビルディング

問合わせ先：経営企画部 広報・IR室

E-mail : investor-relations@agc.com

TEL : +81-(0)3-3218-5096

FAX : +81-(0)3-3201-5390

www.agc.com